

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, プログラム, 奥付, その他

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/2985

平成 19 年度

国立国語研究所公開研究発表会

「生活日本語」の学習をめぐる

ー文化・言語の違いを超えるためにー

■口頭発表

生活のための言葉：

国内外先行事例から学ぶこと、実態調査から明らかにすること

金田智子（国立国語研究所）

評価の「ゆらぎ」を問い直す：評価観・評価プロセスを探る研究

宇佐美洋（国立国語研究所）

よく分かる日本語辞書とは

井上優（国立国語研究所）

日本語教育データベースの構築：その課題と可能性について

野山広（国立国語研究所）

■パネルディスカッション

司会：柳澤好昭（国立国語研究所）

コメンテータ：才田いずみ（東北大学）、西原鈴子（東京女子大学）

金田智子、宇佐美洋、井上優、野山広

日時：平成 20(2008)年 1 月 26 日（土） 14:00～17:00

場所：国立国語研究所 講堂（2 階）

平成 19 年度 国立国語研究所公開研究発表会

プログラム

「生活日本語」の学習をめぐる

—文化・言語の違いを超えるために—

あいさつ (14:00~14:05)

杉戸清樹 (国立国語研究所長)

趣旨説明 (14:05~14:10)

柳澤好昭 (国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター長) ……2

■口頭発表 (14:00~15:30)

生活のための言葉：

国内外先行事例から学ぶこと，実態調査から明らかにすること

金田智子 (国立国語研究所) ……4

評価の「ゆらぎ」を問い直す：評価観・評価プロセスを探る研究

宇佐美洋 (国立国語研究所) ……14

よく分かる日本語辞書とは

井上優 (国立国語研究所) ……24

日本語教育データベースの構築：その課題と可能性について

野山広 (国立国語研究所) ……32

■コメント・パネルディスカッション (15:45~17:00)

コメンテータ プロフィール ……38

■コメンテーター プロフィール

才田いずみ氏（東北大学大学院文学研究科・教授）

東京生まれ，神奈川県育ち。国際基督教大学卒。（社）日本語教育学会常任理事。日本語教育方法研究会会長。

1976年9月から約10年，アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センターで中・上級の集中日本語教育に従事。うち1年は，プリンストン大学とミドルベリー大学夏期日本語学校で日本語講師を務める。1986年4月から東北大学で，大学院研究留学生の集中予備教育を担当。1990年4月より文学部，文学研究科で日本語教員養成に当たる。

現在の研究テーマは，コンピュータ利用の日本語教育に関する研究と，日本語教育実習生の態度変容に関する研究。

西原鈴子氏（東京女子大学現代文化学部・教授）

元日本語教育学会会長。文化審議会委員。中央教育審議会専門委員。ミシガン大学大学院博士後期課程修了。Ph.D. 米国，インドネシア，オーストラリアで日本語教育に従事した後，国立国語研究所勤務を経て1998年より現職。

【著書】

Cross-Cultural Pragmatics and the Japanese Language. 1993, 自治体国際化協会

【編著書】

『講座社会言語学』第4巻 2008(印刷中), ひつじ書房

【国研へのひとこと】

国立国語研究所が大学共同利用機関へ移管することの意味を積極的に評価したいと思います。従来にもまして，アカデミックなニーズに基づく自主的な研究を遂行しやすくなると期待するからです。

平成 19 年度
国立国語研究所 公開研究発表会

「生活日本語」の学習をめぐって
—文化・言語の違いを超えるために—

平成 20(2008)年 1 月 26 日
独立行政法人 国立国語研究所